高山市：自然エネルギーの利用による地域課題解決モデル
～日本一の面積を有する高山市のゼロカーボンへの挑戦～

環境省

脱炭素先行地域の対象：**小水力発電立地町内会(11町内会)、旧町村市街地(旧町村役場周辺9エリア)**
主なエネルギー需要家：住宅1,348戸、民間施設364施設、公共施設55施設
共同提案者：阿多粕小水力発電株式会社、旗鉾小水力発電株式会社、飛騨高山小水力発電株式会社、阿多野郷・野麦小水力発電株式会社、井上小水力発電株式会社、塩屋小水力発電株式会社、上青屋小水力発電株式会社、久手観光開発株式会社、濃飛乗合自動車株式会社、奥飛観光開発株式会社、名古屋鉄道株式会社、飛騨高山電力株式会社、中部電力パワーグリッド株式会社高山支社、一般社団法人CoIU設立基金、株式会社井上工務店

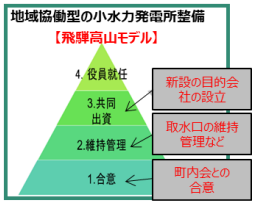
取組の全体像

小水力発電所の整備が予定されている小水力発電立地町内会のエリアにおいて、地域住民に予め維持管理や共同出資などの地域参画や地域貢献手法を発電事業者から提示して合意形成を図り、地域資源を活用した地域協働型小水力発電を整備する**飛騨高山モデル**を更に推進するとともに、事業で得られた収益の一部を地域におけるまちづくりの取組などの原資とすることにより、**地域サービスとして還元**。地域新電力「飛騨高山電力株式会社」が、小水力・木質バイオマス発電による電力を各エリアへ供給することで、再エネの地産地消と**地域経済循環**の実現を目指す。

1．民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

① 市内の中山間地域に飛騨高山モデルによる**地域協働型の小水力発電**を10箇所(2,695kW)整備するとともに、製材端材による**木質バイオマス発電の熱電併給**を導入し、飛騨高山電力を介して小水力発電立地町内会と旧町村市街地の需要家へ供給

② 市内の既存及び着工中の小水力発電5箇所(983.7kW)のFIT電力を飛騨高山電力に特定卸供給することによって、再エネ電力の**地域内循環**を促進



飛騨高山モデル

小水力発電施設

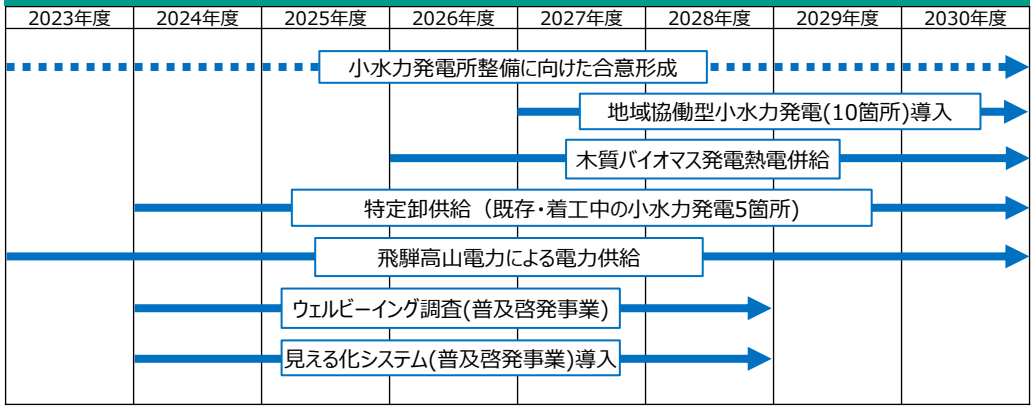
2．民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

① 日本一の森林面積を有する市内森林から伐採される木材を木質バイオマス発電熱電併給の燃料として利用するとともに、排熱を活用した**木材乾燥機**を導入

② 共同提案者である中部電力パワーグリットが再エネ自給率をリアルタイムで把握できるサービスを提供し、**見える化**することで市民の**行動変容**につなげる

3．取組により期待される主な効果

① 市町村合併後、人口減少や少子高齢化が進行する旧町村部において、地域資源を活かした小水力発電の整備により、**地域経済循環**を実現し、人口減少の緩和や若者の定住につなげ、事業収益の一部を地域におけるまちづくりの取組の原資にすることで地域活動の活発化や催事の継続など、住民の**ウェルビーイング(幸福度)向上**に貢献

② 地域住民を巻き込み、予め意向確認をしながら合意まで協働で進める**飛騨高山モデル**により、合意形成が困難な**小水力発電を円滑に導入**

4．主な取組のスケジュール